

TOTO

東陶機器株式会社

シヨイシリーズ 台付サーモスタットシャワーバス金具

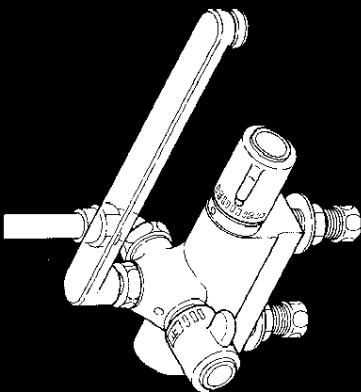
TOTO ご愛用のしおり

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間9:00~17:30(土・日・祝日を除く)

■このたびは、TOTO台付サーモスタットシャワーバス金具をお求めいただきました。まことにありがとうございます。

このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ	
安全上の注意.....	1 ~ 2
特長・各部のなまえ.....	3 ~ 4
つかいかた.....	5 ~ 6
使用上の注意.....	7 ~ 8
温度調節のしかた.....	9
手入れのしかた.....	10
故障したときは.....	11



安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

△ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをするところを示しています。
たゞ、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

△ 注意

(1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(2)お使いになる前に、カラント側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。カラント吐水ヒシャワー吐水を間違うと、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。

(4)熱湯をお使いのときには、カラントは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(カラント付)

(5)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40°C以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

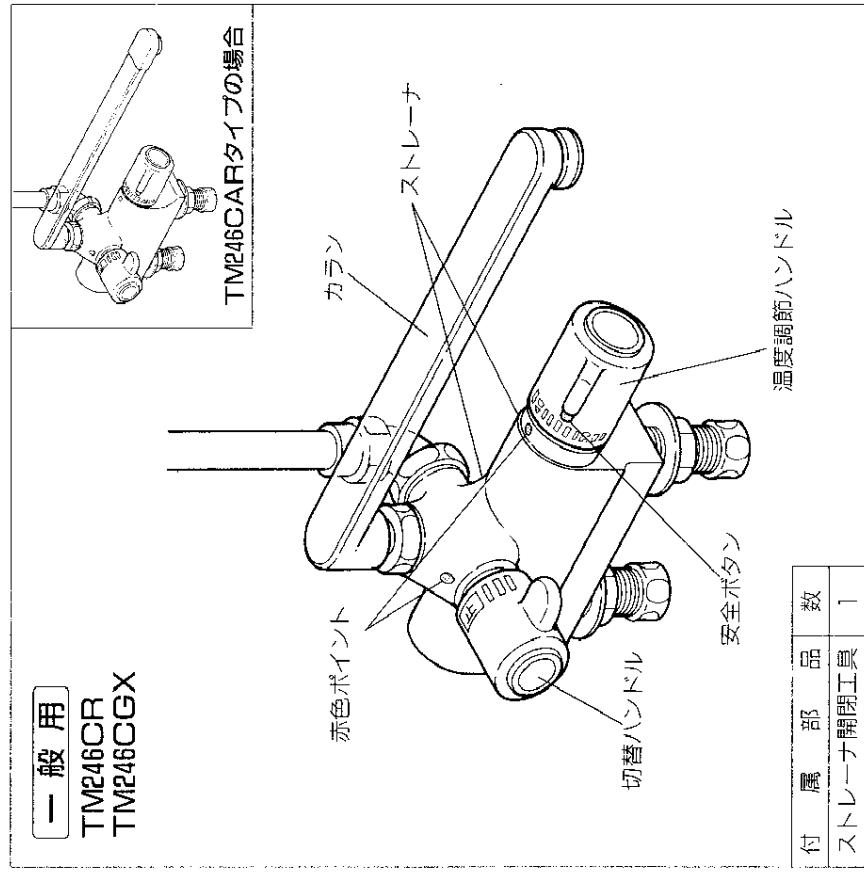
(6)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしづらく水を流してください。次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。
(7)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
(8)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。やけどをするおそれがあります。
(9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラント側に切替えてください。切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かずに湯を出します。やけどをするおそれがあります。(切替弁付)
(10)東端が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)
(11)ハンドルを急閉止せると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

特長・各部のなまえ

1. サーモスタッフの働きで混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わってもほとんど温度変化はありません。
2. 温度調節ハンドルの操作ひどつでお望みの温度に変えられます。
3. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。

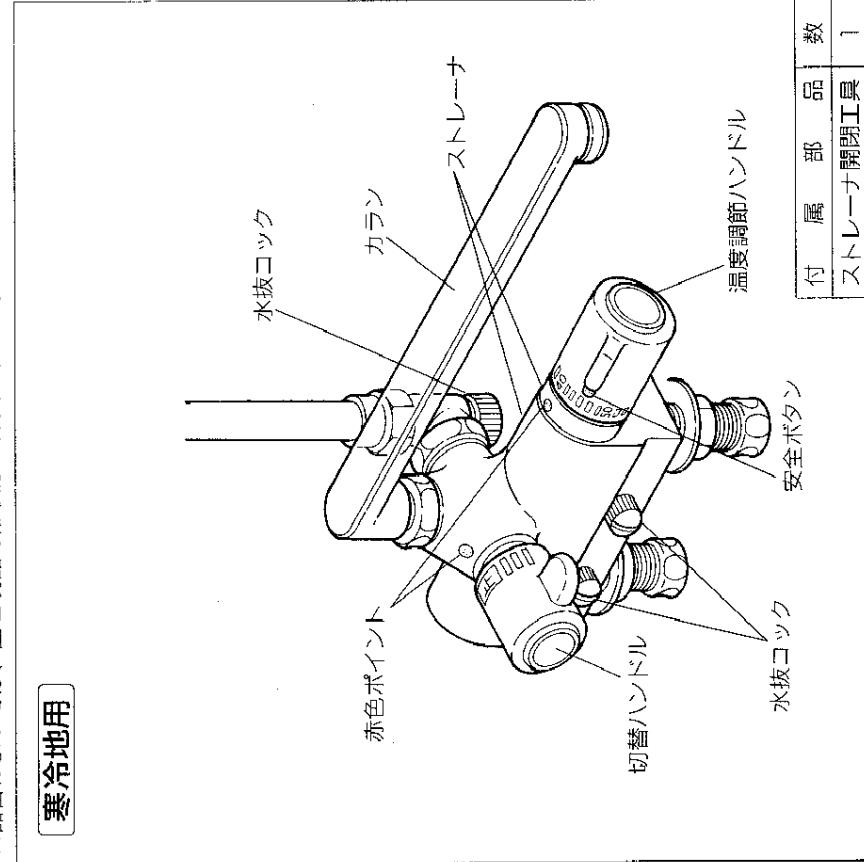
※品番によつては、図と現品の形狀が一部異なります。

一般用
TM246CR
TM246CGX



※品番によつては、図と現品の形狀が一部異なります。

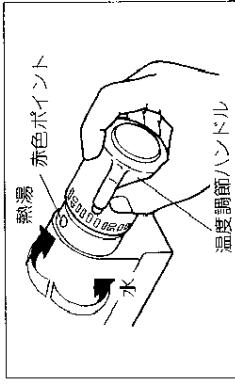
寒冷地用



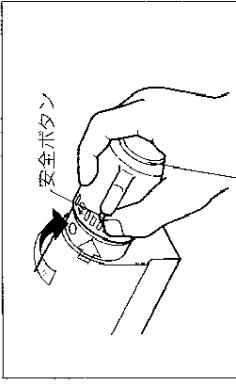
4. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので、誤つて熱湯を出すことがありません。
5. 寒冷地用は器具内の水抜ができる水抜コックを設けています。

つかいかた

1. 溫度調節

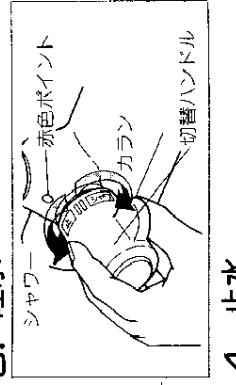


2. 安全ボタン

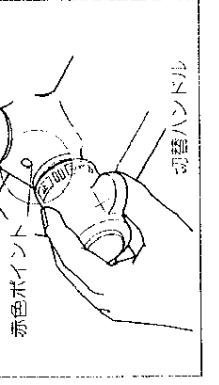


誤つて熱湯を出さないように安全ボタンがついています。温度調節ハンドルは目盛“40”付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用した後は、ハンドルを必ず目盛“40”以下に戻してください。

3. 吐水



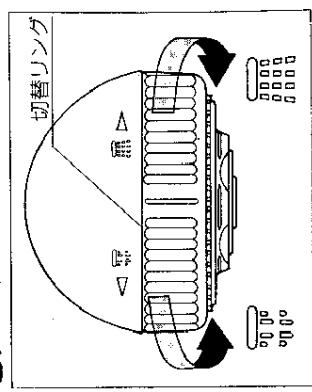
4. 止水



お湯を止めたいときは切替ハンドルの“止”と赤色ポイントを合わせてください。

5. シャワーの切替え

切替リンクを左へ回すとマッサージ(断続)吐水し、右へ回すとシャワー(連続)吐水します。

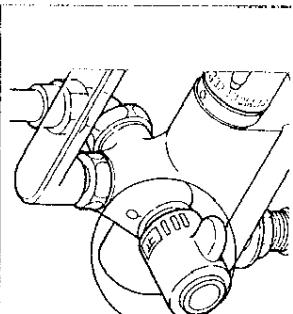


使用上の注意

熱湯を使用しますので、やけどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

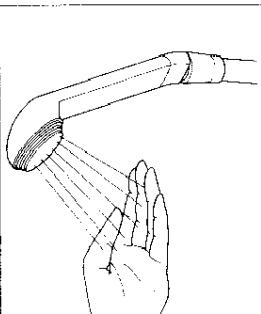
1. やけどに注意

器具の左側は熱湯で高温になるため金属の表面に直接ふれないでください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、高温の残湯を流しておいてください。



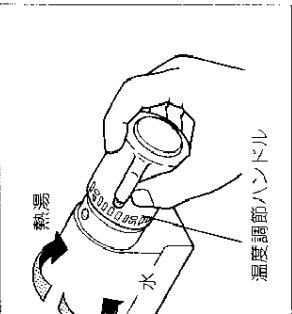
2. 湯温を確かめる

シャワーを使用するときは、いつも手で湯温を確かめてください。



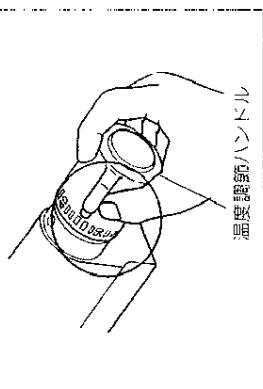
3. 温度調節ハンドルはゆっくりと

温度調節ハンドルを急に回すと温度が上がり過ぎたり下がり過ぎることがあります。ハンドルはゆっくり回してください。



4. 温度調節ハンドルは“40”以下にする

熱湯(“40”以上)を使用した後に使用するときいきなり熱湯を浴びないため、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻してください。

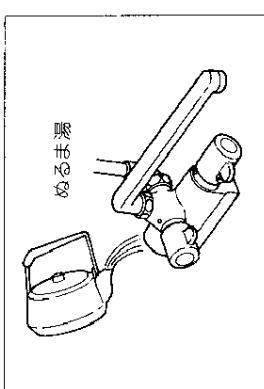


給湯機が瞬間型の場合

- 吐水量が少ないと給湯機が着火しがちがありますのでハンドルはできるだけ全開でご利用ください。
- 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎます)
- 混合水栓から吐水する温度より、10°C以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
- 次の場合は、給湯機が着火しにくくなることがあります。その場合は、給湯機の設定温度(能力切替式の場合は能力)を少し下げてお試しください。
 - 給水圧力が低いとき
 - 水温が高いとき

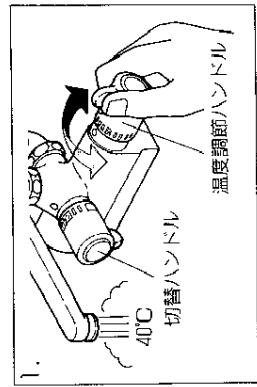
5. 凍結すると少しの間吐水しません(寒冷地用の場合)

凍結した場合、水抜を行っていてもストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合がありますのでそのときは、ぬるま湯であっためください。

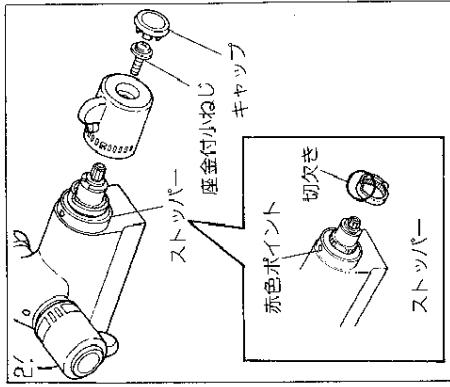


温度調節のしかた

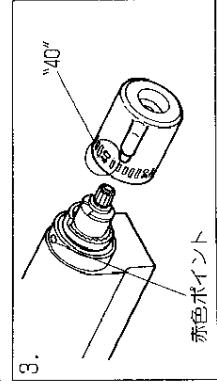
- ダイヤルどおりのお湯が出なくなつた場合は、次の要領で温度調節をしてください。
- 調節する前にストレーナのごみづまりはないか確かめてください。
- 十分な温度(使用する温度より10°C以上)のお湯がきているか確かめてください。



切替ハンドルを開き、温度調節ハンドルのダイヤル目盛に關係なく40°Cのお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。



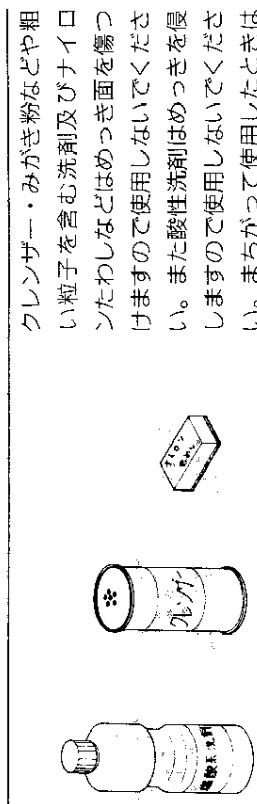
温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじを外して温度調節ハンドルを抜きとつけてください。
温度調節ハンドルを抜きとつき、ストッパーが外れたら赤色ポイントに切欠きを合わせて、はめてください。



ダイヤルの“40”的文字と赤色ポイントを合わせて温度調節ハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめてください。

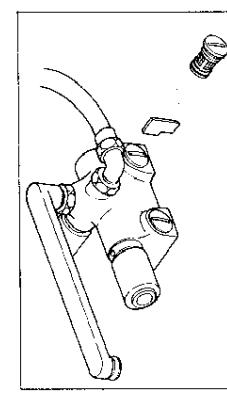
手入れのしかた

- いつまでも美しさを保つために柔らかな布でふき、めつきされたところはときどきミシン油やカーブラックスなどをしみこませた布でみがいてください。ただし樹脂部(ハンドル・シャワーヘッドなど)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめつき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめつきを侵しますので使用しないでください。まちがつて使用したときはすぐに水洗いしてください。

ストレーナがつまると吐水流量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。
又、器具には止水栓が付いていませんので器具手前の元バルブか、水道メータ部の止水栓を開じてください。



付属の開閉工具を溝に差込み、ストレーナをゆるめて取出してください。

ストレーナの網目につまつたごみをブラシなどで取除いてください。

故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合せください。

修理を依頼される前に

現象	お調べいただくところ
■ 吐水流量が少ない	• ストレーナにごみはたまつていませんか。
■ 高温しか出ない ■ 低温しか出ない	• ストレーナにごみはたまつていませんか。 • 溫度調節は適当ですか。
■ 溫度目盛どおり のお湯が出ない	• ストレーナにごみはたまつていませんか。 • 溫度調節は適当ですか。

※ストレーナの掃除は10ページ、温度調節の方法は9ページを参照ください。